

## 第 19 回 滝井セミナー

### — 子どもを理解するために —

関西医科大学総合医療センター分教室

#### 1 はじめに

「滝井セミナー」は、関西医科大学総合医療センターの小児科の医師と関西医科大学総合医療センター分教室との共催で実施している研修会である。病弱教育における府立支援学校のセンター的機能の一環として長年取り組んできている研修会でもある。以下、概要を報告する。

#### 2 概要

日時 令和 7 年 7 月 31 日（木）・8 月 1 日（金） 両日とも 13:00～17:00

※オンデマンド配信

令和 7 年 8 月 4 日（火）～8 月 29 日（金）まで

対象 教職員及び教育関係者等

目的 コロナ禍における起立性調節障害や摂食障害など小児心身症の子どもたちへの留意点や対応等について理解を深める。

内容 「関西医科大学総合医療センター分教室紹介」 教諭 橘岡 正樹

「起立性調節障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 病院助教 寺嶋 駿輝 様（7 月 31 日）

関西医科大学総合医療センター 病院助教 原口 耕平 様（8 月 1 日）

「発達障害への理解と対応」

関西医科大学総合医療センター 病院助教 石谷 健人 様（7 月 31 日）

関西医科大学総合医療センター 教授 石崎 優子 様（8 月 1 日）

#### 3 アンケート結果報告

（会場参加及びオンデマンド視聴希望申込数 480 名 アンケート回収 238 名）

##### ◎アンケート結果

所属	小学校	中学校	高等学校	支援学校	教育委員会	その他
	152	66	5	13	0	2

##### ◎次年度希望する開催方法

集合開催及びオンデマンド配信	オンデマンド配信のみ	集合開催のみ	特になし	回答なし
174	11	19	32	2

### Ⅲ 公開講座

#### 4 考察とまとめ

##### (1) セミナーについて

令和5年度から会場開催とオンデマンド開催を併用している。会場開催は100名定員の会場に両日とも90名以上の申し込みがあり締め切りを早めた。オンデマンド配信も含めて昨年以上の申し込みがあった。アンケート結果等（自由記述）からセミナーへの満足度は例年同様に高く、リピート参加者も多かった。その点からも医師の講義が小中学校等で活用されていることが推測される。また、講演後の質疑応答でも医師への質問が途切れず、本セミナーの必要性を改めて強く感じた。

##### (2) 課題

来年度と再来年度は病院の建て替えに伴い、会場である臨床講堂の借室時間が限られる。そのため限られた時間内で有益なセミナーになるように計画を立てる必要がある。

また、本校の病弱教育のセンター的機能を発揮する上で

###### ①開催方法

###### ②セミナー内容の改善

###### ③参加者数に対するアンケート回答率の低さ

###### ④参加者の募集方法

などについて今後も継続して検討していく必要がある。

##### (3) 改善及び取り組み

- ・参加者へのアンケートの結果、会場開催とオンデマンド配信の併用を望む声が高く、来年度も併用での開催とする。
- ・毎年、関西医科大学総合医療センターの医師に講演いただき、多くの参加がある。これからもアンケート結果に基づき、参加者のニーズを反映したセミナーを開催していく必要がある。来年度も「発達障害」と「起立性調節障害」の理解と支援について医師の講演を開催とする。
- ・本年度はオンデマンド配信視聴者のアンケート回答率が例年に比べ高かったが、会場参加者の回収率よりは低かった。来年度は会場参加者へのアンケートの協力を一層促していく。
- ・GoogleFormでの参加募集方法を行っているが、参加者とのメールのやり取りが多いため、メールが届かないなどの問題が起りやすい。  
案内方法や申し込み方法について自動返信も含め、わかりやすく安全なものに改善していく。

##### (4) 最後に

来年度のセミナー開催に向けて、今年度の課題を改善し、回を重ねるごとに、より精度が高く意義のあるセミナーへと発展させていきたいと考えている。